

平成27年度採択 コンポジット成形を高度化させた新たな工法開発の確立と、多層構造プラスチックの素材開発及び用途開発 株式会社エムジーモールド（愛知県） 主たる技術：(九)複合・新機能材料技術

- ・高機能化：断熱性能と耐熱性を兼ね合わせ、軽量化と高剛性、吸音性能を確保。
- ・環境配慮：車外及び車内騒音の軽減および燃費向上とガスや消費電力の削減。
- ・低コスト化：工程開発によりグローバル化に対応した低コスト。

研究開発の成果

- 【1. 複合材料燃料タンクカバーの工程短縮によるコストダウンへの取り組み】
成果：試作金型を製作し、サンプル品を作成し生産コスト30%減の目途が付いた。
- 【2. 風呂蓋の軽量化と高断熱化への取り組み】
成果：断熱性能30%アップした性能の蓋の試作ができた。
- 【3. HV車向けバッテリー吸気ダクトへの取り組み】
成果：内側全面吸音材のダクト成形技術を成立したが、接着技術における課題を解決中である。
- 【4. 断熱プラスチックカップの開発】
成果：試験条件 温度32℃ 湿度80%・30分後の結露量現行品 約6gに対して、結露量90%減の0.6g以下にできる目途が付いた。また、多数個同時成形により成形タクト10 s 以内の目途も付いた。
- 【5. 自動車向け天井用エアコンダクトの軽量化と高断熱化への取り組み】
成果：現行品850 g から255gへ70%の軽量化を達成した。また、30秒後の製品出入口温度差7℃については、50%以上向上でき、温度差3℃以下の目途が付いた。



研究体制

事業管理機関 公益財団法人名古屋産業科学研究所

法認定中小企業 株式会社エムジーモールド
東レペフ加工品株式会社

当該研究開発の連絡窓口

所属・氏名：副社長 加藤 晴男

E-mail：kato@goto-plastic.co.jp

電話番号：052-502-7671